

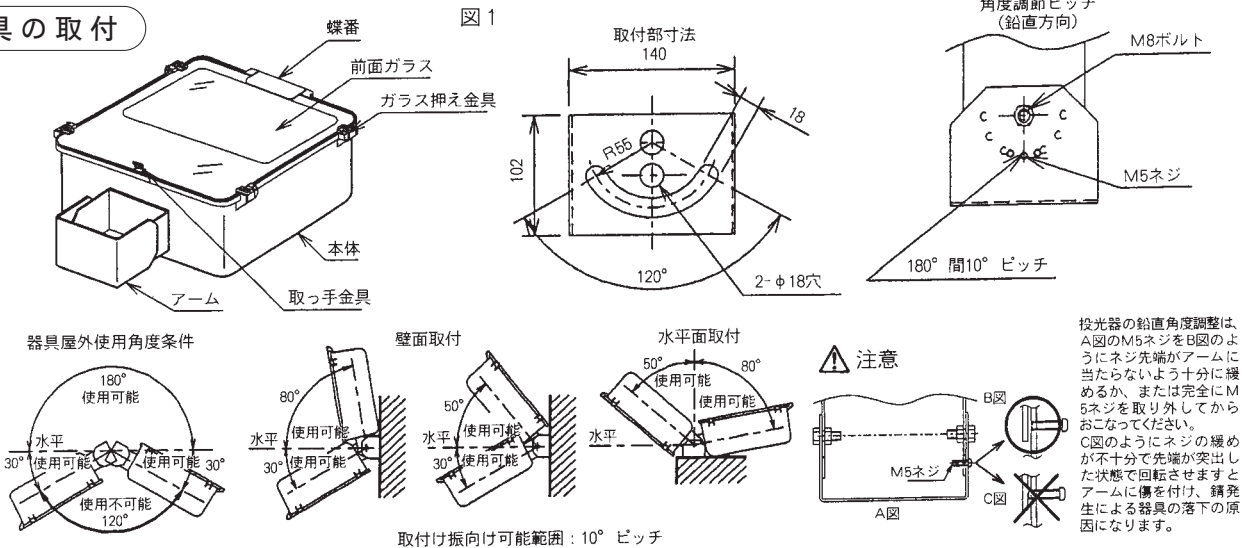
照明器具取扱説明書

製品概要

名称	ユニスポット			
器具形式	HM2511BCCA (B)	HM2513BCCA (B)	HM4011BCCA (B)	HM4013BCCA (B)
使用電圧	200V (A : 50Hz B : 60Hz)			
適合ランプ	FECマルチハイエースH : M(F)250LSH/U(-UVC) FECサンルクスエース : NH220(F)LS 水銀ランプ : H(F)250(X) FECセラルクスエース : M220FCELS-W/BH ※ (※HM2513BCCA (B)の場合はランプの点灯方向制限にご注意ください)		FECマルチハイエースH : M(F)400LSH/U(-UVC) FECサンルクスエース : NH360(F)LS 水銀ランプ : H(F)400(X) FECセラルクスエース : M360FCELS-W/BH ※ (※HM4013BCCA (B)の場合はランプの点灯方向制限にご注意ください)	
質量	約12.5kg		約13.5kg	
口出線	フッ素樹脂電線 1.25mm ² ×2本 器具外300mm アース線 : 耐熱ビニール電線 1.25mm ² ×1本 器具外300mm			
防水性能	防雨形			
使用場所	屋内外の一般的な場所			
使用温度範囲	- 5 ~ 35°C			

❗ 上記の使用環境、条件を守ってご使用ください。

器具の取付



- 投光器は図1の器具屋外使用角度条件の範囲内で必ず使用してください。
- 投光器は構造物の取付面に図1の取付穴寸法に従って取付ボルトを2本設置し、アームを挿入して平座金、バネ座金、ナットで確実に締付けてください。また、図2のように傾き制限がありますので回転機能は取付面が水平(図1)の場合のみの使用としてください。
- 投光器の鉛直角度調整は図1のようにM8ボルトを2本緩め、M5ネジを器具が回転しだすまで緩め、使用角度の位置でM5ネジを締付け、その後M8ボルトをしっかり締付けてください。角度調整は10°ピッチです。

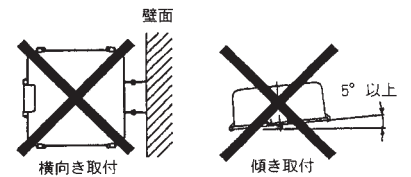


図2

電源線の接続

- 本投光器は全機種電源電圧200Vの安定器内蔵投光器です。結線前に必ず確認してください。
- 投光器の口出線のアース線(緑色)を用いてD種接地工事をしてください。
- 口出線には電線保護チューブが付いていますが、防水性能には関係なく、必要に応じて必要な長さに切断してください。ただし保護を目的としていますので、取り除くことはしないでください。また、結線が終わりましたら電線保護チューブがずれないように、絶縁テープ等でテーピング固定を施してください。

ランプの取付

- 投光器前面部のネジ4カ所を緩めガラス押え金具をスライドさせ、取っ手金具をつかみ、前面ガラスを静かに開閉し、ランプ交換をおこなってください。
- ランプをソケットに最後までしっかりとねじ込んだ後、前面ガラスを元のように閉め、図3のようにガラス押え金具をガラス方向にスライドさせ、手で押え付けながらネジを4カ所必ず確実に締付けてください。締付けが不十分なまま使用しますと、水、水気の浸入による絶縁不良、感電のおそれがあります。

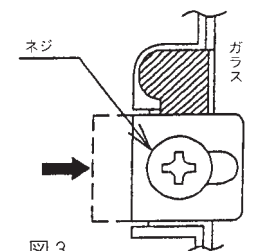


図3

ご使用上の注意

- ご使用中にガラスや反射鏡が若干白く曇る場合があります。シリコンゴムパッキンから発生する微量の揮発ガスですので、異常ではありません。柔らかい布等で拭いてからご使用ください。






ご使用前に本説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後、必ず保管し、必要な時にお役立てください。

器具の配線工事は必ず工事店、電器店（有資格者）などに依頼してください。
一般の人の配線工事は法律で禁止されております。






施工者様へ この取扱説明書はご使用になるお客様に必ずお渡しください。

施工者様、およびお客様への安全上のご注意



警告

-  器具は下記の使用環境、条件では使用しないでください。火災、感電、落下のおそれがあります。
 - ・周囲温度が常時35℃以上の場所
 - ・可燃材に触れる場所
 - ・湿度の高い場所、および水の浸る場所
 - ・腐食性ガス、可燃性ガスの生じる場所
 - ・振動、衝撃の激しい場所
 - ・粉塵の多い場所
-  器具の改造、部品の変更はおこなわないでください。火災、感電、および落下のおそれがあります。
-  器具は点灯中高温となるため、人が容易に触れるおそれがあります。触れるとやけどのおそれがあります。人が容易に触れる所で使用する場合は、柵などを設け保護対策を施してください。ランプ点灯中、および消灯直後の器具は高温になっていますので触らないでください。やけどのおそれがあります。
-  万一、煙が出たり、異臭がするなどの異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店、または工事店にご相談ください。異常状態のまま使用しますと火災、感電のおそれがあります。
-  器具の前面ガラスから近距離のところで長時間作業したり、ランプを直視したりしないでください。紫外線による目や皮膚の障害をおこすことがあります。

注意

-  ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分冷えてからおこなってください。感電、やけどの原因になることがあります。
-  ランプ交換や保守点検の際は、取扱説明書に沿って器具、安定器の適合と、ランプの使用制限を確認のうえ、確実におこなってください。ランプの破損、火災、感電、および落下の原因になることがあります。
-  安全に使用するために、定期的（年1回）に工事店等による点検をおこなってください。異常がありましたら販売店、または工事店等にご相談ください。異常状態のまま使用しますと火災、感電、および落下の原因になることがあります。（3年以上経過したものについては入念に点検をおこなってください）
-  亀裂の発生したガラスは交換してください。落下のおそれがあります。
-  この器具の寿命の目安は使用条件によって異なりますが、一般的な使用場所での平均寿命は8～10年です（安定器内蔵の器具については8年とします）。それ以上使用しますと火災の原因になることがありますので、器具の交換をしてください。

警告

-  アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実にこなってください。アースが不完全な場合は感電のおそれがあります。
-  安定器内蔵の器具については、器具に組み合わせるランプを必ず確認のうえ、施工してください。また、安定器別置の器具については、安定器（特に定格電圧と周波数）を必ず確認のうえ、施工してください。ランプの破裂、および火災のおそれがあります。

お手入れ・ランプ交換

- 器具の清掃について…汚れを落とす場合は、洗剤（薄めた中性洗剤がおすすめ）を浸したやわらかい布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないように乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。火災・変質・変色の原因になることがあります。
- ランプ交換について…ランプ交換は器具・安定器の適合とランプの使用制限を確認のうえ、おこなってください。（IWASAKIのランプをご使用ください）
- ご使用中にガラスや反射鏡が若干白く曇る場合があります。シリコンゴムパッキンから発生する微量の揮発ガスです。異常ではありません。柔らかい布等で拭いてからご使用ください。

お客様へ ランプ交換など保守のために、下記施工記録表を確認のうえ、適切な保守用品をお求めください。なお、安全のため保守作業はできるだけ工事店、電器店にご依頼ください。

保守のための記録

工事完了後、今後の施設の安全維持のため、各欄に記入のうえ、お客様にお渡しください。

施工記録表	
工事名	
工事店名	
電話番号	
取付年月	
器具形式	
使用ランプ	
使用安定器	
使用電圧	
ブレーカーNo.	
取付台数	

商品の保証について

照明器具保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。ただし、HID器具・蛍光灯器具の安定器は3年間です。安定器は磁気回路式安定器（銅鉄安定器）と電子安定器（インバータ）を対象とします。ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外とさせていただきます。※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分とします。

商品に関するご相談窓口

お問い合わせの際は、器具銘板、または施工記録表で器具形式をご確認のうえ、ご連絡ください。

【CSセンター】 ☎03 (3769) 2068

※電話番号等、変更になる場合があります。予めご了承ください。